

# 実測方法

## 〈直線部〉



測定前にバスダクトの布設にずれがないか確認します。



接続ケースにあるV溝間の距離を測定します。

## 〈横向きエルボ〉



バスダクトのセンターを定規などの直材を用いて延長させます。



延長させたバスダクトセンターとV溝間を測定します。



他方も同様に測定します。

## 〈縦向きエルボ〉



バスダクトのコーナーを定規などの直材を用いて延長させます。



延長させたバスダクトコーナーとV溝間を測定し、バスダクト高さ寸法の1/2を減じます。

## 〈横向きオフセット〉



V溝を差金などを用いて延長させます。



延長させたV溝と他方のV溝間を測定します。



バスダクト側面を定規などの直材を用いて延長させ、他方の側面までを測定します。

## 〈縦向きオフセット〉



バスダクト側面を定規などの直材を用いて延長させ、他方の側面までを測定します。



V溝を差金などを用いて延長させ、他方のV溝までを測定します。

### 〈横向きT分岐〉



バスダクトセンターを定規などの直材2本を用いて延長させ、その交点から各V溝までを測定します。

### 〈縦向きT分岐〉



バスダクトコーナーを定規などの直材2本を用いて延長させ、その交点から各V溝までを測定し、バスダクト高さ寸法の1/2を減じます。

### 〈組合せエルボ〉



バスダクトセンターと側面を定規などの直材2本を用いて延長させ、その間を測定し、バスダクト高さ寸法の1/2を減じます。

V溝を下げ振り（または差金）を用いて延長させ、他方はバスダクト側面を定規などの直材を用いて延長させ、その間を測定し、バスダクト高さ寸法の1/2を減じます。

バスダクトセンターを定規などの直材を用いて延長させ、下げ振りを降ろして他方のV溝までを測定します。

※ ここに示した実測方法は1例です。必要に応じてレーザーなどの器具を組み合わせで計尺する場合があります。なお、弊社にて実測を行う場合は有償となります。